

昭和28年～昭和49年

昭和28年 4月	全国石材工業会創立 矢橋亮吉初代会長に就任
昭和33年 1月	月刊全国石材工業新聞創刊
昭和34年 5月	大理石生産の物品税廃止
昭和35年 3月	テラゾタイル導入、製造開始
昭和35年 11月	日本建築学会”標準工事仕様書”作成に参画
昭和37年 6月	創立10周年記念式典開催
昭和39年 5月	(財)建築試験センター評議員に当会長が就任
昭和40年 10月	職業訓練局発行「石工指導要領」編集に参画
昭和40年 10月	「大理石、テラゾ50年の歩み」発行
昭和41年 2月	第1回ヨーロッパ石材事情視察団派遣
昭和41年 5月	石材、テラゾの製作工程及び取付工事要領作成
昭和45年 10月	技能五輪石材加工部門へ参加
昭和46年 6月	テラゾタイル、テラゾブロックJIS制定される
昭和47年 5月	全国建築石材工業会に名称を変更
昭和47年 7月	(社)日本建材協会へ加盟
昭和47年 10月	第2回ヨーロッパ石材事情視察団派遣
昭和48年 5月	鈴木舎治第二代会長に就任
昭和48年 11月	第一次オイルショック発生し、石油抑制強化について実態答申
昭和49年 3月	労働省中央技能検定審議会石工調査委員会発足